

編輯室の内外

△東海道改良道路視察旅行の計畫を發表した、同業誌は昭和の彌次喜多旅行ぢやと批評してゐるが、此旅行は夫れ程に巫山戯けたものでないことは公告されたところに依つて判るであらう、道路改良計畫の批判は

聞くべき多くのものがある筈、夫ればかりでは無い改良未改良箇所につける自動車の交通能率にしても、其の調査の結果は自動車界に有力な資料を提供することを疑はない、沿線各所に殘された名所舊蹟は吾等の此旅行を待つてゐる、是等のことを想像して見ると、子供の氣分ではないが旅行期日の到來を待ち焦れる。

△配付を約束した「修路工夫必携」も漸く完成して、近く配本の運に爲つた、實際丹波浪人が旅日記で物語つてゐるやうに、修路のことが閑却されてゐて交通能率を抑制してゐるものが頗る多い現状に鑑ると

は、本會の此計畫は機宜に適したものと言つて過言ではない、何れ修路工夫の定員に應じて各府縣へ無償配本するのであるが、之を受けられた府縣も、唯だ之を取次ぐと言ふだけでは無く、本會の此事業をして有意義あらしむるやう、何等かの考察を煩して貰へば幸である。

△内務省豫算は大藏省へ廻付され、道路豫算を編制した道路課も、今は大藏省の査定意見が来るのを待つてゐる状態のやうだ、いつも言ふことだが道路改良の効果は河川や港灣のやうに地域的に限局されない勢で、此事業費豫算を支持して財務當局へ陳情運動をやらぬ、で事業共のものに就て民衆の熱が少いやうに觀察される嫌があつた、尤も民衆が陳情や運動をせなければ事業の効果を知らないやうな連中に對して、敢て夫れを爲すの必要もないが、今歳は民衆も這般の事情に感附いたものが、随分澤山な陳情者が東上した、が併し其の効果が

豫算の上にとどう表はれるであらうか。陳情のことなら序に一つ考へさせられることがある、陳情に動かされて事業起興の採否が決定されるとすれば、施政者に民情洞察の眼がないことを物語り、陳情に聽かなければ反民衆的と非難される、詰らない世の中だ。

X X X

定價一部 五十錢
一ケ年分 金 六圓

發行所 東京市麴町區外櫻田町一番地内務省内
社團 法人 道路改良會
電話銀座(57)四二七

發行兼 東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二
編輯者 小島 效

印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武